

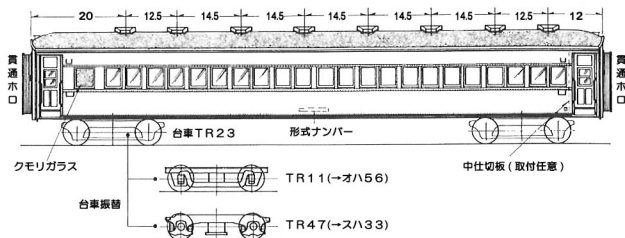
115

国鉄客車 スハ32 形

2両セット

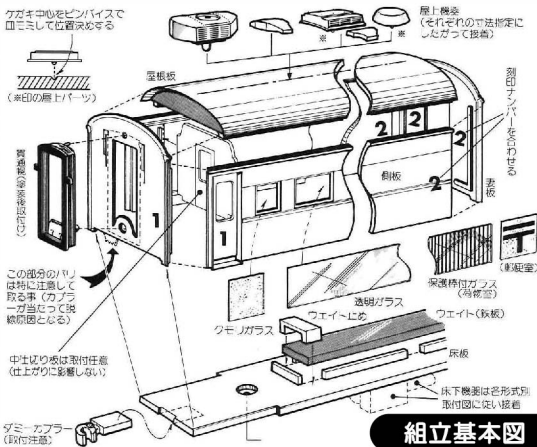


板状未塗装キット・客車シリーズ



別売アイテム

- 台車 #5024:TR23
 - 車両マーク #6310:客車 座席車 白
 - ボディ ②
 - 屋根 ④
 - 屋上機器 ⑨
 - 床下 ⑩
- カラーガイド



組立基本図

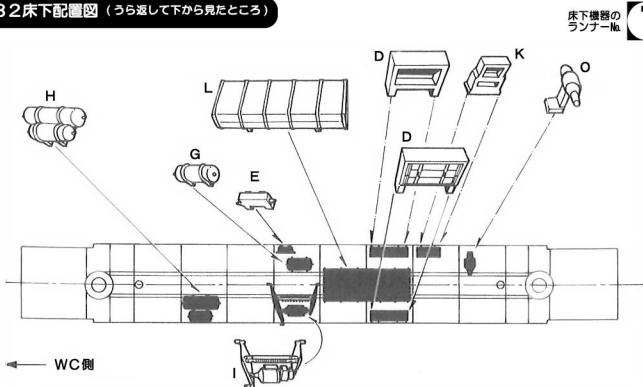
まず、左右側番、前後妻板、屋根板をすき間の出来ない様注意して組み立て、四角い箱状にします。側番、妻板の組み合わせには「向き」があるので、モールド裏の1、2の刻印ナンバーを合わせる様接着して下さい。

屋根板に一体モールドの屋上機器のある食堂車群や一部寝台車(オロハネ10)、又、クーラー穴のあいている形式(冷房低屋根グリーン車や81系、オロ14等)では屋根板にも前後の「向き」があるので、各形式の側面図とよく見くらべてまちがえない様組み立てて下さい。その他の形式ではそれぞれ指定位置に従って各自ケガキのうえ、パンチルーナー等の屋上機器を正しい位置に接着します。

各パーツの取り付けが終わったら車体全体の塗装をすませ、内側から少量のゴム系接着剤を用いて各マドガラスを取付けます。マドガラス(塩ビシート)は現物合わせて長さをカットし、ぴったり側板裏の凹部ににはまる様調整して下さい。最後に黒色ブラ製貫通鏡を両妻板に取付け、上廻りは完成(スロフ81形のバックサインのある側のみ除外)。デッキと客室間の「中仕切り板」が付いている形式もありますが、このパーツの使用は任意(室内装置を作る人以外あまり意味はありません)。床板は上面に鉄板フエイトを2枚のフエイト止めで固定。下面(台車リブ彫刻のある側)にはそれぞれ原寸図に示された床下機器を接着のうえ、つや消し黒に塗って前後をまちがえずに車体にはめ込み固定します。

床下機器の内J(トイシ流し)やO(電動発電機)は台車にぶつからない様特に注意。タミー自連パーツは編成最後端の車両に用いて効果があります。床下、屋上パーツには余剰部品が出る事が多いので、大切にしておくとか改造作品等に有効に利用できるでしょう。

●スハ32床下配器図 (うら返して下から見たところ)



アフターサービスについて

1 万一が製品に不具合がありました場合は、お買い求めの販売店または、グリーンマックス修理係までご連絡ください。

グリーンマックス修理係
〒252-0212
神奈川県相模原市中央区外宮下2-19-5
TEL:042-774-8355
受付時間: 平日 10時~13時・14時~17時
土・日・祝祭日を除く(臨時休業あり)

製品の補修部品に関するご相談は、グリーンマックス各ストア各店までご連絡ください。

秋葉原店
〒101-0021
東京都千代田区外神田1-9-9内ビル5階
TEL:03-3526-7180
受付時間: 平日 12時~19時(臨時休業あり)

ナゴヤ大須店
〒460-0011
愛知県名古屋市中区大須3-5-6矢道町サンコービル2階
TEL:052-269-4900
受付時間: 平日 12時~19時(定休日あり)

大阪日本橋店 **来店のみ**
〒556-0005
大阪府大阪市浪速区日本橋4-5-11橋本ビル2階
TEL:06-6641-5771
受付時間: 平日 12時~19時(祝日を除く・火曜日と年末年始定休)